

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	866.00	2022/10/3
High	940.63	2022/10/5
Low	862.39	2022/10/3
Close	915.77	2022/10/7

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4030.00	2022/10/3
High	4376.00	2022/10/7
Low	4016.00	2022/10/3
Close	4280.00	2022/10/7

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2177.00	2022/10/3
High	2347.89	2022/10/4
Low	2163.08	2022/10/3
Close	2190.50	2022/10/7

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	10129.70	2022/10/3
High	10911.11	2022/10/5
Low	10069.11	2022/10/3
Close	10235.41	2022/10/7



ニュースエクスプレス

少量のルテニウムを使う新たな触媒でプラスチックを新たな原料や燃料に

米パシフィック・ノースウェスト国立研究所 (PNNL) の研究者らは原油から作られるプラスチックを簡単に化学物質に変化させて、新たな原料や燃料の製造に使える方法を発見した。プラスチックをリ

(再) サイクルするのではなく、効率よく化学変化を起こさせて、さらに有用な製品に変換するこの方法は「アップ」サイクルとも呼ばれる。

PNNL グループは、従来の触媒に比べてより少ない量の貴金属を使って化学変化を早める新たな触媒を開発している。さらにこの新たな方法は温室効果ガスの発生が少ないことも大きな利点となっている。

<https://www.mining.com/novel-catalysts-with-little-ruthenium-may-help-turn-plastic-waste-into-new-materials-fuels/>

インド政府、プラチナの輸入関税を15.4%まで引き上げ

10月3日より、プラチナに対する輸入関税は合計で 15.4 % まで引き上げることをインドの財務省が発表した。

貴金属を使う化学薬品、化合物（新たな金属化合物や液体物）、触媒など工業に使われるプラチナやパラジウムの関税は、関税免除の場合も含めて基本関税 7.5 % のままで、ロジウムも基本関税 2.5 % のまま。

プラチナに対する関税引き上げは、法律の抜け穴を利用して地金輸入業者が過去最高の利潤をあげていることに対する対策と見られている。

ゴールド 15 %、プラチナ合金 10.75 % となっている輸入関税が、偽造と関税違反を誘発し、精錬ゴールドをプラチナ合金と偽って輸入している業者がいると言う報告もある。

<https://www.businessinsider.in/business/news/centre-hikes-import-duty-on-platinum-to-15-4/articleshow/94633515.cms>

米、プラチナベースの固体高分子型水電解装置の開発に資金提供

米防衛省は、エネルギー耐性を高める低コストの水素貯蔵を実現するための高性能水電解装置開発プロジェクトに560万ドルの資金を Nel Hydrogen に提供する。

19ヶ月に渡る同プロジェクトは固体高分子型水分解システムの運転コストと設備コストを軽減するための開発をさらに進めることを目的としている。Mining Weekly は、プラチナベースの固体高分子型水電解装置は南アフリカのPGM需要を押し上げるとしている。

同プロジェクトは Engineer Research and Development Center-Construction Engineering Research Laboratory (ERDC-CERL)との共同で、水電解装置の効率を高める高分子膜の開発、生産高の増強とリサイクルを含めたより高度な触媒の開発、貴金属使用量を減らすためのコーティング技術、水電解セルスタックの組み立てとフル規模の試験などを ERDC-CERLにて行う。プロジェクトは更なる資金提供を受けることもできる。

https://www.miningweekly.com/article/us-funding-granted-to-enhance-platinum-based-hydrogen-electrolyser-development-2022-10-05/rep_id:3650

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- プラチナの供給不足は2023年から2026年にかけて増えるというのがWPICの予測。もし今のペースで中国が輸入を継続した場合、供給不足は我々の予測よりも年間で約31.1トン増えるだろう。このシナリオだと、たとえプラチナETFからの売りが今のペースで続いたとしても、供給不足は2023年には24.9トン、2024年には20.2トン、そして2025年、2026年には31.1トン以上に達することになる。詳しくは「2022年9月プラチナ投資のエッセンス 今後2年間から5年間の需給最新見通し：景気後退リスクはあるが、供給不足が拡大」をご覧ください。
https://platinuminvestment.com/files/733293/WPIC_Platinum_Essentials_September_2022.pdf

- 米インフレ削減法、グリーン水素製造と燃料電池自動車の普及を促進するプラチナ需要に追い風。詳しくは「プラチナ豆知識「プラチナにチャンス到来」(2022年10月5日)」をご覧ください。
<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>



(@wpicjapan)